

ファンドラップの運用損益がプラスの顧客割合(単位:%)

	販売会社名	2026年	2025年	2024年
1	りそな銀行	99.0	80.3	95.6
2	大和証券	98.0	90.1	99.2
3	SMBC日興証券	97.0	94.0	99.8
4	野村證券	97.0	93.2	95.4
5	いちよし証券	93.9	98.2	100.0
6	三井住友信託銀行	93.0	92.4	99.4
7	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	90.0	81.0	97.5
8	みずほ証券	90.0	67.0	81.9
9	三菱UFJ信託銀行	68.0	52.9	57.1
	9社平均	91.8	83.2	91.8

※対象は主に対面販売のファンドラップ大手9社。各社公表資料をもとにQUICK資産運用研究所調べ。2026年3月末で運用損益がプラスの顧客割合が高い順にランキング。同率の場合は25年分が高い順にランキング。24年分と25年分は金融庁の公表資料から抜粋。データは各年3月末時点。SMBC日興証券のファンドラップの数値は三井住友銀行の仲介分が含まれる

出所：2026年7月30日 日経電子版「ファンドラップの顧客、5割超が運用益10～30%」をもとにいちよし証券作成

■この資料は元資料の作成者・発行者の承諾を得ていちよし証券が複製し作成したものです。記事に記載されている見解は元資料の作成者・発行者によるものであり、当社のものではありません。また記事の内容や見解は予告なく変更されることがあります。■この資料はお客様の投資の参考として利用いただくことを目的として作成したものであり、記載されている銘柄や商品の売買あるいは手法の利用・導入に関して当社が推奨するものではありません。

●当該記事は、投資信託やファンドラップに関する参考情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘等を目的に作成したものではありません。●金融庁ならびに各社公表資料をもとに細心の注意を払って作成しておりますが、正確性・完全性などは保証できません。●掲載している数値は作成日時点における最新のデータで作成しておりますが、将来変更される可能性があります。●加工・改題は行わず、掲載している内容（特に注釈の部分）をそのままご利用をお願いします。●当該記事を利用したことにより損害等を被った場合でも、QUICKならびに資産運用研究所は一切責任を負いません。